

校長室だより

めざす学校像

- ・「楽しい」がたくさんある学校
- ・「あいさつ」と「ありがとう」がたくさん聞こえる学校
- ・保護者・地域とともに子どもの育ちを支える学校

津市立美杉小学校 No.3 令和5年4月28日 (文責:上野毛戸)

全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェック

4月18日(火)、6年生が、全国学力・学習状況調査を、4・5年生が、みえスタディ・チェックを行いました。4年生にとって、このような調査は、初めての体験であり、緊張しながら取り組んでいました。6年生も全国学力・学習状況調査は、初めてのことです。これらの調査の目的の一つは、児童の学力や学習状況を把握・分析して、今後の教育活動に生かしていくというものです。それぞれの出題範囲は、前学年までに学習した内容から出題されるのですが、普段、授業で取り組んでいるテストとは、形式等が異なります。個々の結果からは、何が身につについていて、どこに弱みがあるか等が分かってきます。三重県や全国の結果については、今後、集計や分析が進められていきます。

学校での様々な学習を通して、子どもたちが経験を通して学ぼうとしたり、自ら学習に向かったりする姿勢を身につけることが大切だと考えています。また、一方では、学習で得た知識や技能を実際の生活の場面で活用できるようになっていくことも重要であると考えています。家庭における学習習慣や生活習慣の確立も子どもたちの学びにとっては重要な部分となりますので、今後ご協力をお願いいたします。

マコモ植え付け体験学習

今年度の地域学習がスタートしました。4月24日、上太郎生の水田において、「八十六石まこもの集い」の会員の方々をはじめ、津市役所農林水産部、美杉総合支所、JAみえなか、地域の方々など、多くの方に支援していただき、マコモの苗の植え付け体験学習を実施しました。「八十六石まこもの集い」の方々が田んぼに入って、マコモをどう植えるのかを見せていただいた後、いよいよ子どもたちも植え始めました。ドラム缶の焚火で暖をとるほど、当日の気温は低く水も冷たかったのですが、子どもたちは一本一本、苗を丁寧に植えていました。3年生11人、4年生5人の力を合わせて、約1時間で苗を植え終わりました。冷たさにも慣れて、大きな声を上げて、田んぼの中を走り回る姿も見られました。初めて田んぼに入った3年生も、どんどん植えていって、頼もしささえ感じました。

今年も、「ふるさと美杉に誇りを持つ」子どもたちに育ててほしいという願いを実現するために、関係のみなさまの力をお借りして、地域学習を展開していきたいと考えています。



任命式

4月25日、今年度前期の児童会役員、各委員会の委員長、各学級の学級委員の任命式を2階ホールで行いました。楽しい学校生活を送ることができるようにするためには、任命された人たちが頑張るのではなく、それを支える周りの頑張りが大切であるという話をしました。それぞれの役割をしっかりと果たしてほしいと思います。